

平成31年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査」
延岡市の調査結果について

延岡市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 平成31年4月18日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年
- (3) 調査対象 延岡市公立小学校27校、延岡市公立中学校15校
(中学校1校は生徒の在籍がないため不参加)
- (4) 調査内容 小学校…国語、算数、質問紙調査
中学校…国語、数学、英語、質問紙調査

【調査問題：下記①と②を一体的に問う問題】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ※英語においては、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の解答は記述式、「話すこと」に関する問題の解答は口述式

【児童生徒質問紙調査】

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

【学校質問紙調査】

調査する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する内容

3 延岡市の結果の概要

全国の小学6年生・中学3年生を対象に学力・学習状況調査が行われ、市内の小学校27校、中学校15校が参加しました。延岡市の児童生徒の生活習慣や学習に対する関心・意欲・態度は、全国平均と比べて望ましい傾向にあります。質問紙調査との相関関係をみると、家庭で学校での出来事について話をしている児童生徒や学校のきまりを守っている児童生徒ほど、学力が高い傾向にあります。児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の質問項目の多くで、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っていました。今後とも、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒のよさを更に伸ばしていけるような取組ができるようにしていきたいと考えています。